

【タイー製造】

大和化学工業、環境保全装置の子会社設立

環境保全機器メーカーの大和化学工業（大阪市）はこのほど、東部チョンブリ県チョンブリ市に現地法人を開設した。同社が開発した廃水・廃液の減圧脱水乾燥装置「減」シリーズの販売などを手掛ける。

新会社「サイアム・ダイワ・インターナショナル」は、資本金740万バーツ（約1,900万円）、大和化学工業の100%出資。海外では香港、中国に次ぐ3カ国・地域目の拠点となる。

「減」シリーズは廃液や汚泥を減圧下で蒸留することで固液分離を行い、産業廃棄物の削減または再資源化に貢献するシステム。タイでは既に日系企業と地場企業へそれぞれ納入実績があり、潜在市場は大きいと判断した。当面は年間5台程度、将来的には同15台程度の販売を目指す。

新会社ではこのほか、排水処理設備で使用する特殊微生物処理の関連事業や、一般エンジニアリングなども手掛ける。



タイ現地法人の開所式（大和化学工業提供）